リコールに遂へ異議申立へ

告示

署名総数　三二六二
法定署名数　三〇〇〇
有効署名総数　一九四〇

昭和二十九年五月四日
小須戸町選挙管理委員会

両派が異議申立て

リコール派では不成立を不満として無効署名中から九十八名の異議申立書をまとめて提出した。一方議会側では今日手分けして調査の結果有効署名中から更に二百名の無効を確認したのでこれを無効とする異議の申立てを行った。これで両者正面切って対立いがかたちとなった。

和協一致町建設を希う

町長　長谷川鉄太郎

三校統合に就て一言申上げて置きたいと思います。昨年三月新保校が危険校舎で改築命令を受け更に本年三月小須戸校と横水校が改築命令を受けました。小須戸校は最も甚だしいので大きな支えと棒をかつて漸く支えて置く様な狀態であります。それで教育委員と町議会議員と町役場と合同で昨年の四月以来数回に及び検討したのでありますが、距離、経済、教育の向上等から考えて三校統合が強く打出され満場一致で決議されたのであります。新保校も横水校も教室の増築や屋外運動場の拡張等が要求されて居るので、結局三校を統合することが町の経済的にも一番良いと思います。学校の施設も充実し生徒達も新しい広々した校舎で勉強出来ることゝ伸びて行くのであります。

この改築命令により国より貰える補助金は三校で八百坪総額六〇〇万以上になり、又起債も許され三ヶ年で二四四〇万として年六分五厘の安い利息であり、四ヶ年据置で十年の償還であるから、計十七年のなしくずしと云うことになる。補助金が予定より百八十万も余計に見込まれ又工事の入札も一割程度約三百万の安いため浮き出て校舎の三棟を売却したりすると約一億の協力を御願い申します。

三校統合反対私達の意見

三校統合反対連盟

病院及び三校統合問題に端を発した今回の当局並に議会側の一連の政策は、善良なる町民を欺まんし徒に苦しみに追いやる暴挙と言わざるを得ません。是れに対し吾等は黙視出来ません。

根本的に課題は民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

(断)

此の度三校統合問題に関して検討しあった上で、皆さんに考えられる事を見出したいとうか、是か否かとされた事が納得のできる筋を見出し町議会側は、現意教育の面からも、町財政の面からも、万善の策と考えられたものと思うが、一方から見れば如何に与えられた権限によって決議上、実行には問題についても、これだけの大事業を始めるからは、町会の権限にのみ頼り一般の意見を聴き、町民の納得の上でやって欲しかったと思う。

両刀(一)

決議以前に一般の意見を聞き、賛成の者は賛成、反対の者は反対の意見を広く意見を聴き、町民の納得の上でやって欲しかったと思う。

併し尚事を欠き熟慮しし過ぎた点はなかったか。亦敢とした既成の事実をかゝ事が出来なかったものか、今后の問題もあり敢えて苦言を呈し一考を煩わし度い。（凡刀子）

両刀(二)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(三)

なるから考えられ納得出来ない。国の起債の利子は年六分五厘で日歩壱銭八厘、銀行の利子は日歩弐銭等に対しては初めから敵視し了解させ、今日の事態に至らしめた事は吾等も町民の一員として責任を感じて対処して来ました。

吾等は、当局並に議会側は吾等に対しては初めから敵視し了解させただけの誠意を見せず、今日の事態に至らしめた事は吾等も町民の一員として責任を感じて対処して来ました。

両刀(四)

なる運動を以って対処して来ましたが、当局並に議会側は吾等に対しては初めから敵視し了解させただけの誠意を見せず、今日の事態に至らしめた事は吾等も町民の一員として責任を感じて対処して来ました。

両刀(五)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(六)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(七)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(八)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(九)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(十)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(十一)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

両刀(十二)

人として皆様とともに甚だ深憂に堪えません。

民主々義の破滅を招来し教育の機会均等の場を失わしめ経済の破綻を来すものであります。主権在民の根本理念を逸脱し住民自治の基本精神を冒涜し、吾等は断じて黙視出来ない。

臨時特別号
公民館報 こすど
発行所　小須戸町公民館
町村合併小須戸町選挙管理委員会
印刷発行者　矢部益三郎

春祭りヨカ花祭り！

(1)特賞 三番町 (2)協力賞 料理業組合 (3)一等首切り婆さん (4)二等上町若連中 (5)三等 井須商店 (6)参加賞 中野工場
（撮影 吉田起風氏）

花祭仮装大会

人波でごった返した五月八日の花祭。この日の呼び物、仮装行列のス賞は次の通り。

特賞 大名行列 三番町
二等 君の名は 上町若手連中
三等 雀のお宿 井須商店
（個人）
一等首切り婆さん 土屋清兵衛
二等 裏らん上人 小林秀一
三等 石童丸 久保益
協力賞 小須戸小唄料理業組合

こぼれ話

この日の個人仮装の圧巻は「首切り雀のおばあさん」。首尾よく一等をせしめたはよいが、係員に向って「これだけちや足らん、もっと欲しい！」と盛んに文句をぶつける。（なんんぼ賞品が少いといったって……）と腹の中でブツ〳〵思っているとおばあさんの日く「わたしやよくばりバ、ありだね。……（ギョウ）

肩もはぐれる　腰れもとれる
家中そろってたのしい踊り
スケエアダンス講習会
5月は 12. 21. 28 日
夜7時半　公民館

家庭看護法講習會

五月廿、廿一両日
午前九時～四時
場所　公民館
講師　日赤新潟支部
照会は公民館又は婦人会へ

意見はドシ〳〵寄せて下さい

館報「こすど」はあなたの新聞です。苦しい財布の中から出しあっているこの館報を是非生かす様にして下さい。　―編集部―

館報に望む

館報五月号を見て感じたことを一言述べたい。

私は一つの期待をもって館報を手にしたが、それは現在全町民の最大関心事である三校統合及びそれに関連して起きた諸問題について、一行の記事もなく全然ふれない。これは昨日今日突発した問題でもないのに誠に解せぬことである。

日本資本主義講座別巻の飜訳　陽気なドン・カミロ頑張る
〃　探偵　縁々ドン・カミロ頑張る
〃　わが女学生時代の譜
〃　深夜の告白
〃　婦人記者の眼
雑誌　オール読物　六月号
文芸春秋六月号、別冊
〃　項中副委員長に保科清作氏を追加

今月の購入図書

時代　舞踊（潮の巻）
現代　天気曙朗なれど
記録　脅威庁
随筆　思われ人
〃　全集　新平家物語（第15巻）
教養　父が子に語る世界歴史（二）（三）

投書箱

女性に関する十二章
〃　日本資本主義講座別巻
〃　満場一致で議決された由であるがそれが何故リコール議ぎまでもつれて来たのか私たちも一般町民にはさっぱり解らない。三校統合は民意であろうのに議決された事であろうのにこうなると私達は議会の様威を疑うべきか、それに反対する人の常識を疑うべきか、拳措に迷う。

勿論当局の説明会や反対町民大会もあっただろうが毎日の労働に疲れて出席できかねる人も多いことであるから、館報はそれらの人の為に真相を提供してほしいと思う。

私は三校統合には是々否々でゆきたいがその為に町唯一の広報機関である館報は公平の立場で両者の言い分や経過を発表してもらいたい。勿論町の予算も私達町民の大きな関心事だがもっと興奮の重大問題を先に取上げて欲しい。館報で希望する。館報は町当局の御用新聞でなく、一部の機関紙に非ず故治的な編集などせず真に町民が知りたがっている町の問題に勇気をもって取組んで欲しい。（一町民）

第二回（五月十九日夜）
レコードコンサート
LP盤で……
時には映画・幻灯も一
会費不要
子供さんはいけません
主催　公民館
提供　アメリカ文化センター

小須戸はどうなる？

町村合併特集

昔、交通の重要地点として、信濃川畔に栄えた小須戸の町も、安進丸が姿を消して以来の三十年間、農産物の生産、集荷地としての外に、格別みるものもない産業を頼りとして今日に及んだ。

だが、終戦後はこの農産地に結びついてゆく傾向が著しい。

西浦地方の農家では、三輪車を買入れて新潟三条へかつた部落も、多い密接な盛んに出動しているという話である。農作物の集散地は金遠度にその存在価値を減少させているのだ。

小須戸附近もその例に漏れない。シモは新津、カミは加茂、川の向うは白根、加茂方面にひかされてゆく農家数はますゝ顕著である。その証拠に、小須戸の市は「お昼まで」と、相場がきまつてしまつた。正午の支度を急ぐ十一時半のサイレンを、十二時に戻そうとする商家の顔いも哀れ三十分のハカない努力にしか過ぎない。

× × ×

この様な状勢下で町村合併問題が、われ〳〵の目前に提起されて来た。北は新潟、南は加茂、対岸は白根に向かつて、小須戸への合村合併に応じられるものかどうか？、「寄らば大樹の蔭」ということもある。まして三綾統合問題に血で血を洗う内輪もめをやつているのだ、論外のサタという外あるまい。

県の町村合併案に「小須戸町は一応現状のまゝ」の線が打出されているのも、当！

（四月三十日記）

水爆か リコールか

生けいすけ

住民投票だ、ーとカキたいといわれる。

三綾統合だ、リコールだ、いつゝ、運命の大きな力は小須戸の町に不気味な雲を垂りめぐらしている。保安隊だ、自衛隊だとにひかれる物の集散地、小須戸への金村合併に応じられるものかどうか？、「寄らば大樹の蔭」ということもある。まして三綾統合問題に血で血を洗う内輪もめをやつているのだ、論外のサタという外あるまい。

県の町村合併案に「小須戸町は一応現状のまゝ」の線が打出されているのも、当！

（四月三十日記）

何んとかしようてばね

—寄稿—

新保 柿太郎

小須戸の町も偉くなつたもんだね。

えつ…何が偉くなつたって？

いやいやいかね。近頃盛んに新聞を賑わしているじゃないか。しかもでかい活字の見出しで「小学校統一問題紛糾」「小須戸遠に町議会リコール」とか何んとかさ。新聞にさわがれるようになりや大したもんだよ。大臣でも代議士でも汚職だ疑獄だとさわがれゝばさわがれる程大物になる時代だからね。

ところでかんじんの問題は結局どうなのか、おいら町民のはしくれには一向見当がつかん。町側の説明を聞けばもつとただし、反対側の言分にも理くつはあるし、一方校舎の工事はどん〳〵進んで行くしリコールの署名も法定数には達しなかつたというけれど二千名からの有権者が反対しているというのだし、全く何がなんだか分らないのよだ。

何はともあれなんとか自鼻をつけてもらいたいもんだ。面子や感情で動いているどうもならん。そんな気持はさらりと捨てゝこゝらで一つ手を握り、やりかけた仕事を進めてもらいたいもんだね。町の将来の為だ。それにつけてももう一つこゝに考えねばならんことがある。「困降つてて地かたまる」ということわざがあるがね。それだよ。今度の問題が起きた大もとに何があつたかということを町当局も議会もおいら町民もとつくり反省して、二度とくり返さない様に、平和な町にしたいもんだ。その為には役場と議会と町民をがつしりつなぐ何かゞもつと活潑に動いてもらいたいもんだ。はつきり言えばその為に社会教育があり公民館が動いているんじゃないかね。公聴会もいゝだろう。懇談会も討論会もいゝだろう。館報にも両方の意見をじやんじやん書いてもらいたい。そこから本当の輿論が生れるんだと思うがね。

もしも役場や教育委員会や議会が公民館を無視したり、それを抑える様なことをしたらそれこそとんでもない話だが、まさかそれほど無考えでもあるまい。

そう〳〵…町村合併というでかい問題も目の前にぶらさがつている。

よそはみんな解決していくのに、小須戸だけはノホホンだ。今からでもおそくない、早いとこ何んとかしようてばね。たのみみますぜほんとに…

○ × ○ × ○

諸説 小須戸合併案

あなたはどの案に賛成しますか？

▼

第二段階に入つたといわれる町村合併問題に対処する小須戸町の構想はどうであろうか。

今回のこの改革は、以后のその町村の運命を左右するといわれるものであり、われわれ小須戸町民としても現在これ以上の大問題はないと考えられる。

そこで、可能不可能は別問題として、一応話題になつたいろんな合併案を提示して、小須戸の運命につながるこの問題を究明する判断材料として町民みなさんの前に取り出してみたい。

第一案 七ケ村合併案（町当局案）

金津、小合、白井、庄瀬、田上各村のほかに小林、新関の両大小須戸町一とし、更に信濃川の河状整理地を整工業地帯として発展させ、併せて二三男対策をも講じようというもの。

第二案 小須戸郷四ケ町村合併案

小須戸町を中心として金津村（六九六九）小合村（六、一六七）新関村（四、四三一）を含め人口約三万の町にしようという案であるが、この案には新津市への合併しようという合みが持たされている別名を「新津市小須戸区案」ともいつてもよかろう。

第三案 磯村合併案

（田上、金津、小合を合併）

南蒲原に属してはいるが隣り同士の田上村も吸収し、湯川・コウヤなどの入り組んでいる行政区を分りやすくすると共に、温泉政策にも力を入れて小須戸町との経済関係を更に強化させようとするものである。

小須戸町附近図

第四案 小金町案（小須戸、小合、金津合併）

前の案の田上村を除いた案で、小須戸、小合の「小」と金津村の「金」をとつて「小金町」とよんだらどうかという案である。

第五案 小須戸、田上合併案

金津、小合が新津市へ吸収されるの公算が相当大きいから、イツソのこと田上村と合併して、温泉政策も強力にとり上げ、農家の有畜経営も田上に学び、独特のゆき方をしたらどうかという案である。

第六案 白根町との合併案

これは、前の案が川向いを余り考えに入れていないのに対し、小須戸町は八枚、戸石方面とは切つても切れないもの。白根郷十ケ町村案に仲間入りをしたらという案である。久近いの将来には県立病院が設立された場合、これを利用する相当数が白根郷に属する人たちでもある。更に又蒲原平野の平場地帯同士が互いに交流する為の、吉田—白根—小須戸を通つて磐越方面に至る電車鉄道も実現させようという考えのものである。

第七案 現状維持案（県案）

県の町村合併委員会に示された案で、中蒲原としては小須戸と七谷だけが現状のまゝ、七谷村はその后加茂市へ合併するということになつた。

第八案 隣接部落吸収案（分村合併案）

これは、小須戸町と経済的にも深いつながりを持つ隣村の各部落を分村合併しようという案である。

（梅の木、新通、ニヤバ子、成沢等）

一、小合村

二、金津村（古津、ガツリ、三分一等）

三、田上村（湯川、コウヤ、湯田上等）

四、庄瀬村（上、枚、十二瀬鳥方面）

五、白井村（戸石、下八枚方面）

以上の部落をそれ〳〵吸収しようという案であるが、事は村人の問題だけではなく、隣接各村の人々にも連なるものであり、この衝に当る町当局も今や小須戸町誕生以来の大難局に際会しているのである。

▼

小須戸町を中心とする合併案は大体以上の様であるが、事はれ〳〵町民一万の問題だけではなく、隣接各村の人々にも連なるものであり、この衝に当る町当局も今や小須戸町誕生以来の大難局に際会しているのである。

町村合併促進法とは

合併促進法の生れたわけ

明治三十四年に矢代田村、横水村、新保村と小須戸を合併して「小須戸町」になつてから五十三年になります。その間世の中はボン〳〵流れてしまい、町村運営もこんなに小さな規模ではとてもやつて行けない、というので、昨年八月の第十六国会で「町村合併促進法」が議決されて、一月一日から施行になり満三年の間に合併を完了させようということになりました。

県内でも加茂、小千谷、村上と次から次へ新しい市が生れて、一々名前を数え上げるだけでも骨の折れる有様になりました。

合併すればよいわけ

第一に、赤字々々で悲鳴をあげていた、小千谷、村上は、さつぱり仕事も施設もできない貧困な状態から救けられることです。小さい力がチンバラ〳〵にやつたところで、ろくなことが出来ないというが、北蒲原の寒鱈町では町村合併の一足先に、六ケ町村共同伝染病院を作り、火葬場を作り、公平委員は七ケ町村共同設置でやつております。

この施設がどんなだかは行つてみなくとも大体分るような気がします。

第二は、お互い同士のつなぐ力をもつて、押ちつ押たれつの関係を一つにできることです。

小須戸町でも、川向いの中学生が海朝々々中学校へ通つていますが、この裏には他町村というだけの理由で冒例な問題があつて関係している方は人に知られぬ苦労をしていると聞きます。

遠くに「矢代田駅」の歴史あり、近くに「三綾統合問題」の紛糾がある。子孫百年の後に悔を残さぬ決定をこそ祈る。

合併する場合の特典

国としてもこの問題には力を入れており、学校、病院、診療所、土木工事やその他の施設、事業には事情の許す限り補助金を出したり、財政面の援助についても、優先的な取扱いをすることになつています。

又、鉄道や電信電話その他の公共企業体も、町村と町村の都合のよい様に取り計らつてやらねばならぬことになつているのです。

合併促進の機関

また県には、県知事の諮問機関として「県の合併促進協議会」があります。

議長、議員で「町村会」の協議会があります。

小須戸町では、昨年十一月町会の本会議でこれが採り上げられ、県知事は下十一人の人々によつて「合併促進準備会」ができて、この前、一応の合併案が示された訳であります。

最近、当町では次のように町当局と各種団体、有識者によつて「促進委員会」が結成されて、いよ〳〵この問題も正式に歩み出しを初めた感があります。

【委員決る】

—（順不同）—

委員長 田中四郎

副委員長 海津平一郎、丸山清三郎

委員

新井田広、高橋又一郎、黒井関三郎、小島正泰、村山砺治、新井田公治、吉田福松、藤田勘太郎、遠藤藤次郎、佐藤清宮次、羽田哲福、高橋孫吉、須藤幸吉、石井健治郎、川村敬七、藤田七次郎、砂井一郎、川村敬七、藤田清三郎、正二、井上ヨ、坂井秀吉、石川源一郎、渡辺温、坂井秀吉、石井健治、鳳四郎、加藤敏雄、野崎正雄、銀作、新井田辰次郎、丸山十七郎、鈴木市助、秋谷貞治、秀三郎、田中重三、海津政吉、松伏茂、新井田政吉、吉田正一、長沢五十嵐兵治、新井田義太郎、板橋太郎、中沢吉三郎、井信作、横山信次、宮崎純雄、七、五十嵐次栄、加藤落、大塚長、木村敬三郎、川村マツ

顧問

保科清作、井上寛治、加藤国一郎、五橋一郎、若吉、白井門蔵、大橋一郎、海津平一郎、斉藤加助、今井兵一郎、平門卷二、坂井隆治、保科栄吉、小林孝治、高山市太郎、五十嵐重雄、鎌和清之七、

常任委員

保科清作、井上寛治、加藤国一郎、五橋一郎、若吉、白井門蔵、大橋一郎、海津平一郎、斉藤加助、今井兵一郎、平門卷二、坂井隆治、保科栄吉、小林孝治、高山市太郎、五十嵐重雄、

議長、議員

各町村長、町村長、議員で「町村」の協議会があります。

【委員長】

田中四郎、海津平一郎、丸山清三郎

【委員】

—（順不同）—

新井田広、高橋又一郎、黒井関三郎、小島正泰、村山砺治、新井田公治、吉田福松、藤田勘太郎、遠藤藤次郎、佐藤清宮次、羽田哲福、高橋孫吉、須藤幸吉、石井健治郎、川村敬七、藤田七次郎、砂井一郎、川村敬七、藤田清三郎、正二、井上ヨ、坂井秀吉、石川源一郎、渡辺温、坂井秀吉、石井健治、鳳四郎、加藤敏雄、野崎正雄、銀作、新井田辰次郎、丸山十七郎、鈴木市助、秋谷貞治、秀三郎、田中重三、海津政吉、松伏茂、新井田政吉、吉田正一、長沢五十嵐兵治、新井田義太郎、板橋太郎、中沢吉三郎、井信作、横山信次、宮崎純雄、七、五十嵐次栄、加藤落、大塚長、木村敬三郎、川村マツ

あなたのお考えは？

諸説コンブンの小須戸町合併案八つのうちあなたはどの案に賛成でしようか

第 ［　］ 案に賛成！

右のワクの中へ一案なら「一」と八案なら「八」とお書き込み下さい

（各小学校で取りまとめますから見学にお渡し下さい）

切取線

町村合併放談会

すき勝手な熱をふくもよし

まじめに論ずるもよし

分らぬをきゝ合うもよし

とに角あなたも来てみなさい

5月23日夜7時半 公民館